

この度は、キャッシュボックスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。なお取扱説明書は大切に保管し、必要な時にお読みください。

この商品は、一時的な保管庫としてご使用ください。
盗難などによる損害については、当社では一切その責任を負えません。
あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。

△ 安全上のご注意

けがをする原因となります。	故障の原因となります。
<ul style="list-style-type: none"> △ 可動部のすきまに手や指を入れなでください。 ○ 不安定な場所では使用しないでください。 ○ 平らな場所でご使用ください。 ○ 机などからはみ出して置かないでください。 ○ 改造・分解・修理はしないでください。 ⚠ 溶接剥がれや取っ手の欠落などの異常を発見したときは、直ちに使用を中止してお求めの販売店にご相談ください。 ○ お子様には使用させないでください。 ⚠ お子様の手の届かないところに保管・管理をしてください。 ⚠ この商品の使用者には、この取扱説明書をよく読んでから使用するよう、指導・管理をお願いいたします。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ この商品に手をついたり、もたれかかったり、のったりしないでください。 ○ この商品の上にものをせたり、投げたり、ものにぶついたり、乱暴な取扱をしないでください。 ○ フタを開けた状態で、持ち運びや移動をしないでください。 ○ 不安定な場所では使用しないでください。 ○ 平らな場所でご使用ください。 ○ 机などからはみ出して置かないでください。 ○ 必ずフタを上にして置いてください。 ○ フタを開める前に、トレーや庫内の収納物がフタにはさまれる状態になっていないことを確認してください。 ⚠ 改造・分解・修理はしないでください。

ご使用上のお願

- この商品は室内、または屋内用です。屋外での使用や水ぬれは、サビや変色・変形の原因となります。
- フタを開けた後は、必ず施錠し、管理をしてください。
- この取扱説明書や鍵は、庫内に入れてください。万一の紛失に備えて、必ず別の場所に保管してください。
- この取扱説明書には、ダイヤル錠の解錠番号が印字されています。庫内に入れてください。

商品に関するお問い合わせ

【キャッシュボックスに関するご質問】

故障や鍵の紛失、その他のご質問は、下記のごホームページの「キャッシュボックスに関する質問」をご覧ください。

<http://www.carl.co.jp/support/faq/box/>



【ダイヤル錠の解錠番号について】

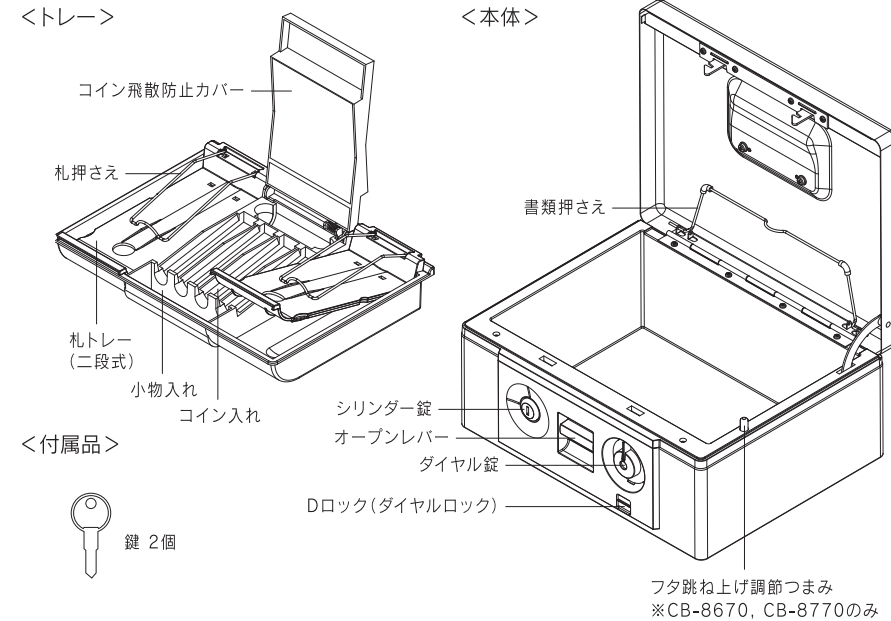
ダイヤル錠の解錠番号に関するお問い合わせは、専用の「解錠番号 お問い合わせフォーム」よりお問い合わせください。

<http://www.carl.co.jp/support/unlock-number/>

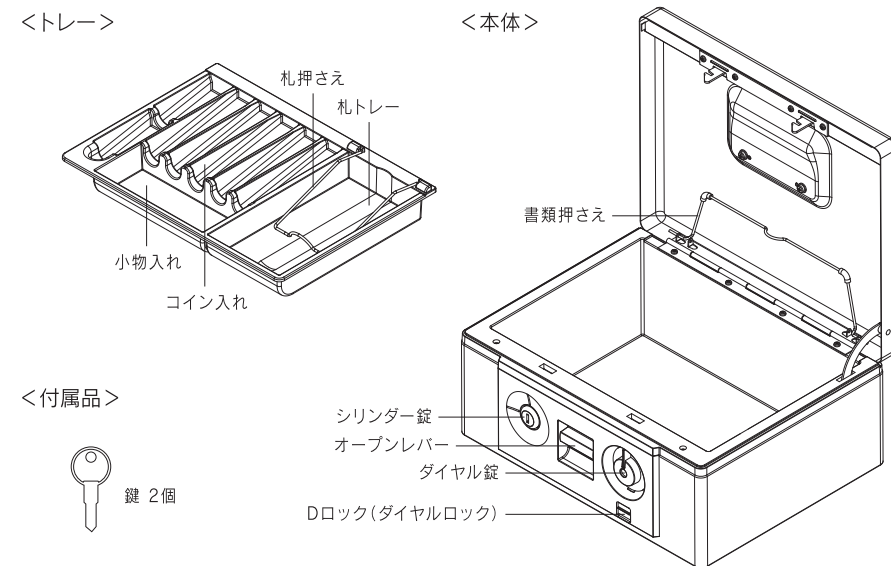


1. 各部のなまえ

【CB-8570, CB-8670, CB-8770】

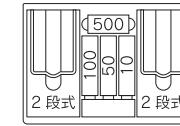


【CB-8470】



2. トレーの仕様

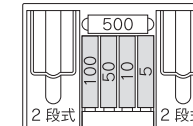
【CB-8570】



【コイン収納枚数】
¥500：32枚 ¥10：50枚
¥100：46枚
¥ 50：44枚

【紙幣収納枚数】
4箇所合計：400枚(目安)
※1,000, 2,000, 5,000, 10,000円札収納可能。

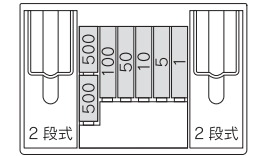
【CB-8670】



【コイン収納枚数】
¥500：40枚 ¥10：50枚
¥100：50枚 ¥ 5：50枚
¥ 50：50枚

【紙幣収納枚数】
4箇所合計：540枚(目安)
※1,000, 2,000, 5,000, 10,000円札収納可能。

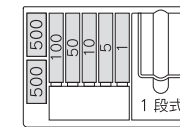
【CB-8770】



【コイン収納枚数】
¥500：50枚 ¥10：50枚
¥100：50枚 ¥ 5：50枚
¥ 50：50枚 ¥ 1：50枚

【紙幣収納枚数】
4箇所合計：640枚(目安)
※1,000, 2,000, 5,000, 10,000円札収納可能。

【CB-8470】



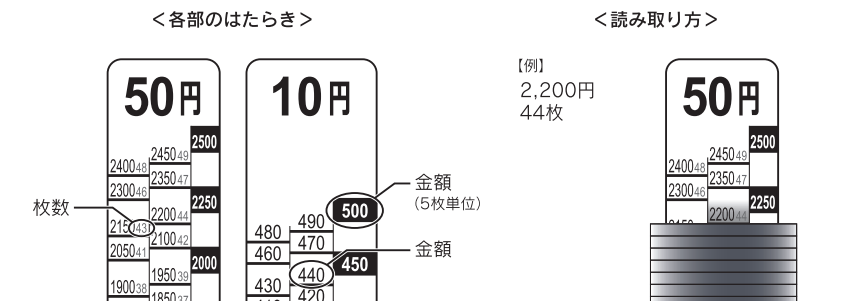
【コイン収納枚数】
¥500：50枚 ¥10：50枚
¥100：50枚 ¥ 5：50枚
¥ 50：50枚 ¥ 1：50枚

【紙幣収納枚数】
1箇所合計：220枚(目安)
※1,000, 2,000, 5,000, 10,000円札収納可能。

<トレー図の表記について>

- 100 コイントレータイプ
硬貨を収納するのみで硬貨をカウントする機能はありません。
- 100 コインカウンタータイプ
硬貨を収納でき、かつ、硬貨をカウントする機能があります。

【コインカウンターの見かた】



1円、10円、100円の目盛りには、枚数表示はありません。

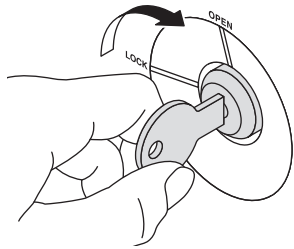
重なったコインの最上部に見える数字を読み取ってください。

△ 注意 コインカウンターは、流通されているコインの厚みの平均値を基準にしています。変形したり、極度に磨耗したコインを収納すると、誤差を生じることがあります。

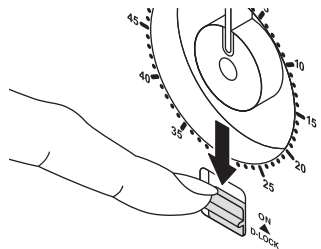
3. フタの開けかた(シリンダー錠、ダイヤル錠の解錠方法)

△注意 フタを開けるためには、「シリンダー錠」と「ダイヤル錠」の2つが解錠されている必要があります。どちらか一方だけの解錠だけではフタは開きません。

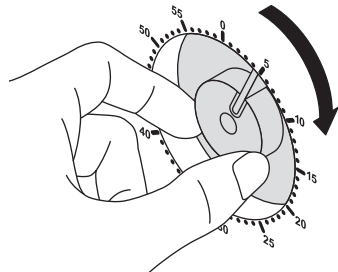
① 鍵を鍵穴に入れて、右 (OPEN) に回してください。



② Dロック(ダイヤルロック)を下にスライドしてダイヤルを動かせる状態にします。

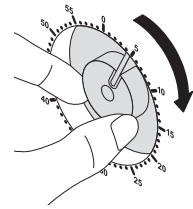


③ ダイヤルを右に2周以上回します。



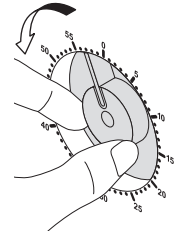
解錠番号に合わせる必要はありません。この手順は、ダイヤル錠の解錠作業状態を完全にクリアにするための手順です。次の手順④⑤で、ダイヤルを回しすぎてしまった場合などの解錠作業に誤りがあった場合には、この手順をおこなってから再度作業おこなってください。

④ ダイヤルを右に回して解錠番号に合わせます。



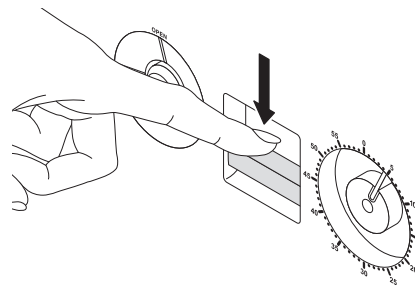
△注意 ダイヤル番号を任意に変更することはできません。

⑤ ④で合わせた位置からダイヤルを左に回して解錠番号に合わせます。
※ダイヤルを左に1周以上回さないでください。



△注意 ダイヤル番号を任意に変更することはできません。

⑥ オープンレバーを押し下げ、フタを開けてください。



△注意 必ずフタに手を添えて、フタを開けてください。

4. フタの閉めかた(シリンダー錠、ダイヤル錠の施錠方法)

△注意 フタを閉めるためには、「シリンダー錠」と「ダイヤル錠」の2つが解錠されている必要があります。どちらか一方だけの解錠だけではフタは閉まりません。

① フタを閉める前に以下のことを確認してください。

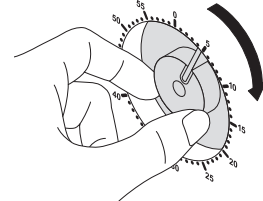
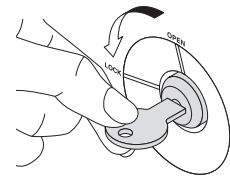
- 庫内に、鍵、取扱説明書を入れていないこと。
- トレーが斜めになっていないこと。
- 庫内の収納物がフタにはさまれる状態でないこと。

② シリンダー錠が解錠されていることを確認してください。

③ ダイヤル錠が解錠されていることを確認してください。

④ フタをゆっくりと「カチッ」と音が出るまで確実に閉めてください。

⑤ 鍵を鍵穴に入れて、左 (LOCK) に回して ⑥ ダイヤルを右に2周以上回します。

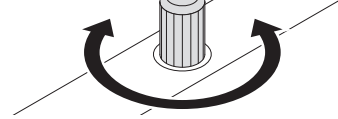


△注意

- 鍵と解錠番号は庫内以外の別の場所で保管してください。
- フタを開けた状態でシリンダー錠をロックしたり、ダイヤル錠を回した場合はフタは閉まりません。この状態で無理にフタを閉めると故障や破損の原因となります。

5. フタの跳ね上げ調節(CB-8670, CB-8770のみ)

バネが
強くなる



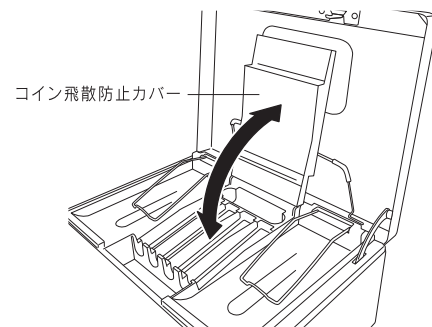
バネが
弱くなる

フタの跳ね上げのバネの強さを調節できます。書類押さえにはさんだ書類の量によりフタの開きの強さが変わった時に調節をしてください。

△注意

- 書類押さえに大量の書類をはさまないでください。フタが開かなくなります。

6. コイン飛散防止機能(CB-8570, CB-8670, CB-8770のみ)



コイン飛散防止カバーは、フタを閉めた状態の本体を持ち運ぶ際にコインが飛散しないようにします。コイン飛散防止カバーは、本体のフタの開閉の動きに連動して自動的に動きます。

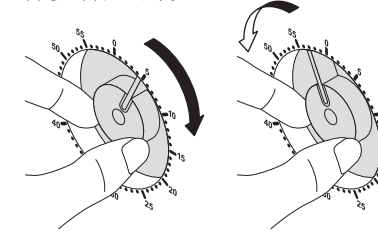
△注意

- コイン飛散防止カバーの上に物を置かないでください。フタが開かなくなる原因となります。

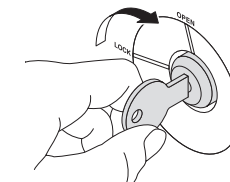
7. 施錠管理の変更方法

【鍵(シリンダー錠)のみの管理】

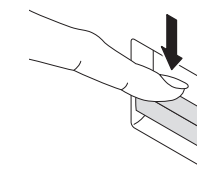
- ① ダイヤルを右に2周以上回します。
- ② ダイヤルを右に回して解錠番号に合わせます。
- ③ ②で合わせた位置からダイヤルを左に回して解錠番号に合わせます。



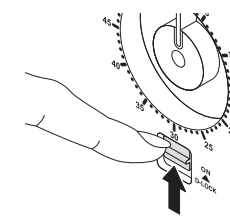
④ 鍵を鍵穴に入れて、右 (OPEN) に回してください。



⑤ オープンレバーを押し下げて、フタが開くか確認してください。
※開かない場合は、解錠番号に誤りがあります。再度、解錠作業をおこなってください。

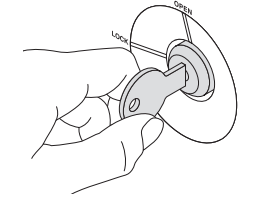


⑥ Dロック(ダイヤルロック)を上スライドしてダイヤルが動かない状態にします。



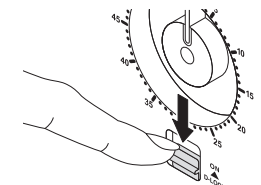
【ダイヤル錠のみの管理】

- ① 鍵を鍵穴に入れて、右 (OPEN) に回してください。
- ② 鍵を抜いてください。



【Wロック(シリンダー錠+ダイヤル錠)の管理】

① Dロック(ダイヤルロック)を下にスライドしてダイヤルを動かせる状態にします。



△注意

いずれの施錠管理においても、鍵、ダイヤル解錠番号は庫内以外の別の場所で保管してください。

